

進捗報告書（実行団体）

事業名: 新型コロナウイルス対応障害者就労支援事業
資金分配団体: 特定非営利活動法 A C O B A
実行団体名: 非営利活動法人キャリアデザイン研究所
実施時期: 2021年3月～2022年2月
事業対象地域: 千葉県
事業対象者: 働くことが困難な人

Version 1.0
日付: 2021年9月1日

I. 事業概要

事業概要
新規事業として、障害が疑われる方（障害者含む）の就労支援に取り組みます。特に障害を受け入れられず苦勞している方の支援に注力します。提供するサービスは①トレーニング施設の開設（自己理解・仕事理解の推進と踏み出す力の醸成）、②障害が疑われる方（障害者含む）と障害者雇用を進めたい企業をジョブコーチとして支援、③働くことに悩んでいる方とその関係者に対してWEB相談・メール相談窓口を開設します。助成金は開設経費、事業運営経費に充てます。また、障害者雇用推進のため、事業運営には、ボランティアスタッフも含め障害者にも加わっていただく環境を整え、地元企業・自治体・団体にも協力を働き掛けていきます。

II. 進捗報告の概要

総括
全体として、新型コロナウイルスの拡大、緊急事態宣言の発動により、集客のためのセミナー中止、利用者来所の制限、企業訪問・体験の延期等により、活動が停滞している部分もありますが、計画している活動を順次進めています。目標達成のためには、事業対象者へのリーチ、事業対象者が応募できる企業発掘、そして応募面接などの機会回復が重要であるため、オンラインアプローチも含め、変化に対応できる事業計画の見直しを確認しながら進めていきます。

III. 活動実績

アウトプット (今回の事業実施で達成される状態)	進捗状況
①就労準備トレーニング実施のべ人数 (目標値: のべ50人) ②ジョブコーチ実施のべ人数 (目標値: のべ24人) ③WEB相談・メール相談実施企業数 (目標値: 1社) ※短期アウトカム: 就職決定者8名	①のべ26人 (達成率: 52.0%) 社内トレーニング: のべ17名/社外トレーニング(職場体験) のべ9名 ②のべ4人 (達成率: 16.7%) 3月からの採用が1名にとどまったことから未達。 ③3社 (達成率: 300.0%) 利用者採用企業以外に職場体験受け入れ先企業2社からの相談も対応中。 ※1名 (達成率: 12.5%) 就職決定者は1名ですが、登録者は10名おり、就職目標達成の可能性高い。

活動	進捗状況	概要
トレーニング施設 活用状況	ほぼ計画通り	①就労準備トレーニング施設整備(場内) VRトレーニング、PCトレーニング、朗読トレーニングを提供 ②就労準備トレーニング機器設置 就労トレーニング用VR設備を導入 ⑦就労準備トレーニング実施(場外) 農業トレーニング(半日)、職場見学(半日)、職場体験(3日)
広告宣伝及び周知活動	ほぼ計画通り	③事業活動広告宣伝ツール整備(ホームページ整備・メルマガ) ホームページ掲載、Twitter発信 ⑥学校・企業及び関係団体への周知活動 (事業開始チラシ配布・訪問説明) ハローワーク松戸、柏市社会福祉協議会、柏市役所などにチラシ配布。その他福祉系21団体と連携。(その他連携企業: 13社)

スタッフの採用と教育	計画通り	④スタッフの採用 障がい者就労支援専門家である精神保健福祉士を採用 ⑤スタッフの教育 採用スタッフ2名他、セミナー講師、協力してくれるNPO会員に対して事例検討会等ZOOMによる定期的なミーティングを開催。
ジョブコーチ実施状況 (実施件数など) WEB相談・メール相談 状況(申込数等)	ほぼ計画通り	⑧ジョブコーチ事業実施 新型コロナウイルス感染症の広がりにより訪問困難となり4件と低調。 ⑨メール相談・WEB相談・企業向け研修実施 訪問がなかなか出来ない状況であるため、3社に対してメール、ZOOMにより就労者への対応についてアドバイスしています。

IV. 事業実施後(1年以降)に目標とする状態への所感(中間時点)

自由記述
①就労準備トレーニング実施のべ人数(目標値:のべ50人)、②ジョブコーチ実施のべ人数(目標値:のべ24人)、 ③WEB相談・メール相談実施企業数(目標値:1社)、※短期アウトカム:就職決定者8名を1年後の目標としています。新型コロナウイルスの広がりで行動が制限されていることもあり、半期分の達成率(50%)をクリアできている項目(①・③)、できていない項目(②・※)それぞれあります。未達の要因としては、登録者(利用者)の障がい(疑われる方含む)状態がさまざま、障がいを受け入れられない利用者には障がい受容できるように丁寧に対応しているため時間を要しています。この対応は、本人のみならず、親との面談、主治医との連携も行っているため、想定以上に時間を要しています。時間はかかっていますが、この対応により、障がいの受容が進み、障がい者手帳取得の意思が固まり、障がい者雇用の準備が進んでいる利用者もいます。目標達成を意識しつつ、粘り強く対応していきます。

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	実行団体への助成に充当される費用	¥752,947	¥4,508,668	¥5,261,615	¥1,682,252	32%
	管理的経費	¥88,633	¥644,964	¥733,597	¥321,062	44%
合計		¥841,580	¥5,153,632	¥5,995,212	¥2,003,314	33%
補足説明		<p><人件費及びシステム機器費の削減効果></p> <p>①セミナー講師をNPO会員によるボランティアで賄えた事、スタッフによる内省化もでき経費削減に繋がりました。また、新型コロナウイルス感染症によりセミナー中止もあり、スタッフ出勤を下期に移動した事により合計で約52万の人件費消化が先送りとなりました。</p> <p>②VRシステムキャンペーンによる無償化及びPCの割安購入などにより約70万が削減できたため、トレーニング設備等購入を検討中。</p>				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
利用者の集客については、NPOの運営事業であるサポートステーション(柏・松戸)、子供の居場所事業(松戸)他、社会福祉協議会(柏)、ハローワーク松戸(障がい者専門援助部門)にチラシなどをおかせていただいているが、反応が少ないため、連携先スタッフに対して説明会などを実施し、事業周知などをさらに強化していく予定です。

VII. その他

自由記述
<p><リスクマネジメント></p> <p>新型コロナウイルス感染症の収束が予想以上に長引いているため、行動制限も長引く可能性があります。また、利用者の資金不足により来所困難な状況も出てきています。ZOOMなどによるオンライン面談もしたいところですが、PCやタブレット端末、インターネット環境が整っていない利用者もあり、十分な対応ができない状況も生まれています。資金があれば、利用者に対してPCやタブレット端末を貸し出しすることも必要と感じていること、また、今年度（単年度）で解決できる問題ではないとも思われることから、継続的な活動の必要性を感じています。</p>

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	無	
広報制作物等	有	事業のチラシ、セミナー開催チラシ、ホームページ掲載など
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	理事会で報告することになっていますが、今までにはありません。
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	ホームページに掲載
5. コンプライアンス委員会は定期的を開催されていますか。	はい	理事会で確認